

TOKURA
TRANSECT

(戸倉縦断)



刈寄山からの眺望

8月17日、猛暑の中、戸倉三山(白杵山・市道山・刈寄山)を中心に、森の健全性の確認と生物調査に行ってきました。私は戸倉地

区にある登山外周ルート「TOKURA TRANSECT」と呼びます。スタートは荷田子で、ゴール

は沢戸橋です。最初の斜面はかなり急で、ハードな登山の始まりです。口から出る言葉は「暑い!暑い!」だけです。登るにつれなんとなく涼しくなります。

白杵山の頂上に着くと、養蚕の神様がまつられている白杵神社があり、登山道の歴史が感じられます。その後、市道山に向かいます。暑さの影響からか動物は少ないと感じましたが、カケス、ヤマガラ、ヤマドリ、アオゲラなどの鳥の鳴声を耳にしました。また、哺乳類の足跡を確認したので、ニホンザルやイノシシなどの姿が想像でき、「秋なら、

テンでも普通に見られるんじゃないかなあ」と思いました。

市道山の頂上から先は、スギやヒノキ林が多く、途中の伐採されたエリアでは東側の山々の眺望が広がって見え、とても感動的でした。そして、アカマツ、モミ、コナラ、ヤマザクラなども目にするようになります。入山峠を過ぎると間もなく刈寄山に到着です。頂上には東屋とベンチがあり、市内の景色や狭山丘陵などの眺望が最高です。そこから尾根道をゆっくり今熊山まで下り、今熊神社を訪ねました。ここはトイレとテーブルなどがあり、休憩に適しています。さらに逆沢(坂沢)周辺まで下ると、ツリガネニンジン、

ヤマナシ、イヌブナ、トチノキなどが見られます。また、植物の種類が多いことから、ハンミョウ、クロタマムシなどの面白い昆虫もたくさん顔を出してくれました。この付近の分かれ道で沢戸橋を目指し、刈寄川と秋川の合流を見ながらその日の行程を終えました。

戸倉三山の長い尾根道は、大部分が人工林ですが、動植物の種類や森の環境は想像以上に多様で、魅力的なルートだと感じました。危険箇所なども特になく、道はしっかりしています。体力的には少し厳しいコースですが、もうすぐ紅葉の季節になりますので、皆さんもこのルートを縦断してみませんか。
パプロレンジャー